文献３４

J Ind Microbiol Biotechnol 40: 345-352 (2013)

Improve carbon metabolic flux in *Saccharomyces cerevisiae* at high temperature by overexpressed TSL1 gene

X-Y Ge et al.

JiangNan Univ., China

【概要】

Tsl1は*S.cerevisiae*においてトレハロース合成の調節因子である。多コピープラスミドpYES2にTSL1を連結して、スクリーニングで得られた*S.cerevisiae* Z-06株に導入し、Z-061株を得た。

Z-061株を初発グルコースを210g/Lとし、16時間後に800gのグルコースを添加した7Lジャーファーメンター培養で評価した。

38℃の培養では、Z-061株の最大エタノール濃度は36時間で185.5g/Lであり、親株（96.3g/L）の２倍以上であった。

残存グルコースは親株は36時間で200g/L以上であったが、Z-061株は20g/L以下であった。

